

# 職場定着に関する 調査報告書

公益社団法人全国私立保育園連盟 調査部

## はじめに

全私保連調査部が調査活動を行う際は、調査項目の検討から調査の実施、調査票の回収、調査の考察までをすべて部内で完結していました。しかし今回は、各地方組織内に存在する調査担当の皆様と共同で調査を実施いたしました。基本的な調査項目の設定は全私保連調査部が行い、地方組織の皆様には調査票の配布と集計作業をお願いいたしました。

調査の実施に当たっては、各組織の事務局をはじめ、調査担当の皆様に多大なる協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。おかげさまで 6847 票もの回答をいただくことができました。全私保連調査部単独の調査では、このように多数の回答をいただくことは困難でした。重ねて感謝いたします。

## 調査の概要

### 1 調査内容

本調査報告書に添付した「調査書」に基づく調査（7～8ページ参照）

### 2 調査対象

永年勤続（10年以上）の保育士

### 3 調査方法

全私保連調査部において調査項目を設定し、各加盟組織の調査担当の皆様には調査様式を提供し、調査を実施。

集計結果を excel 形式で全私保連調査部へ提出していただいた。

### 4 調査票発送および回収時期

2015年12月9日（水）～2016年6月30日（木）

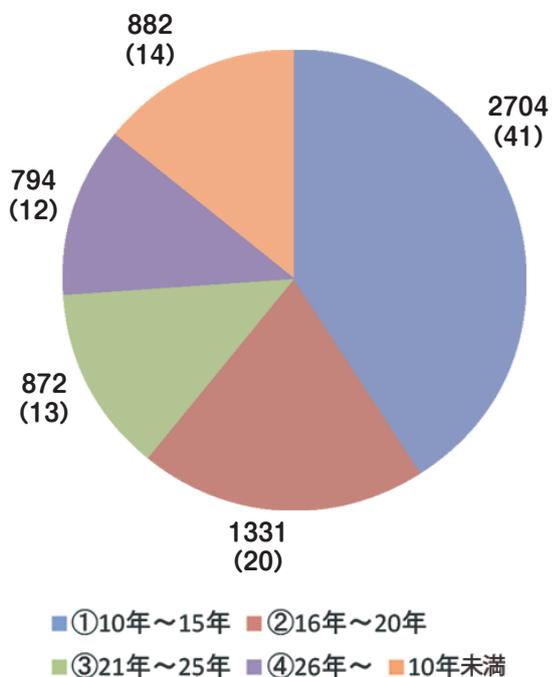
### 5 回収票数

全体回収票数：6847 票

全国私立保育園連盟 50 加盟組織のうち、30 組織より提出していただいた。

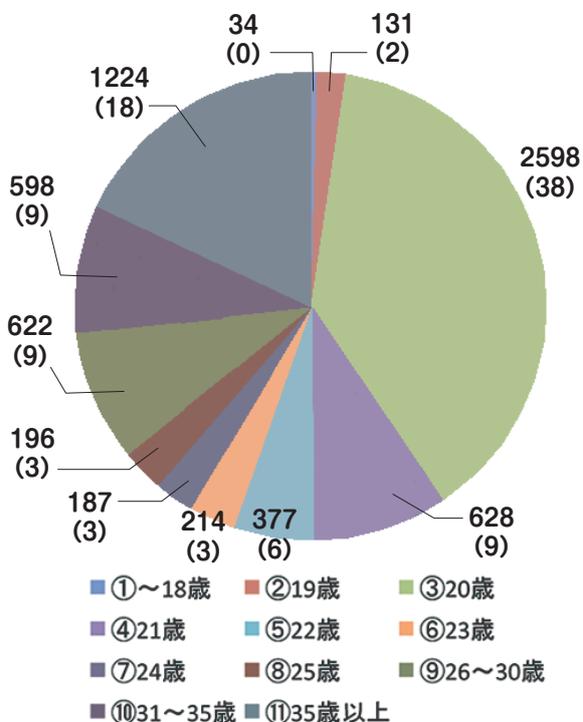
Q1

現在お勤めの施設での勤続年数をお答えください。



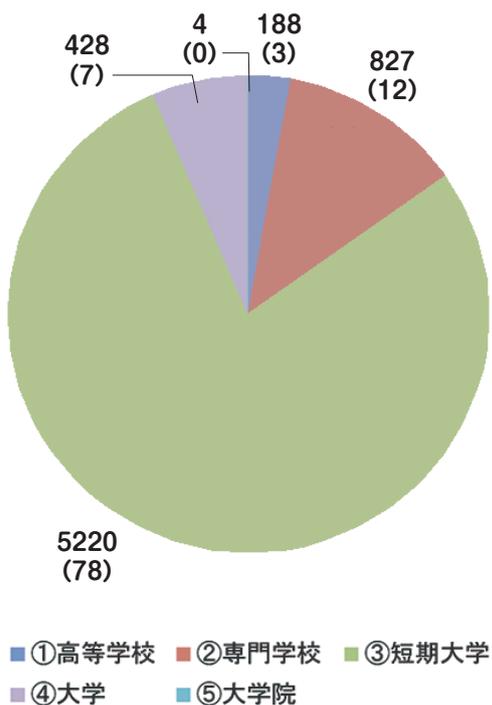
Q2

現在お勤めの施設に就職されたときの年齢をお答えください。



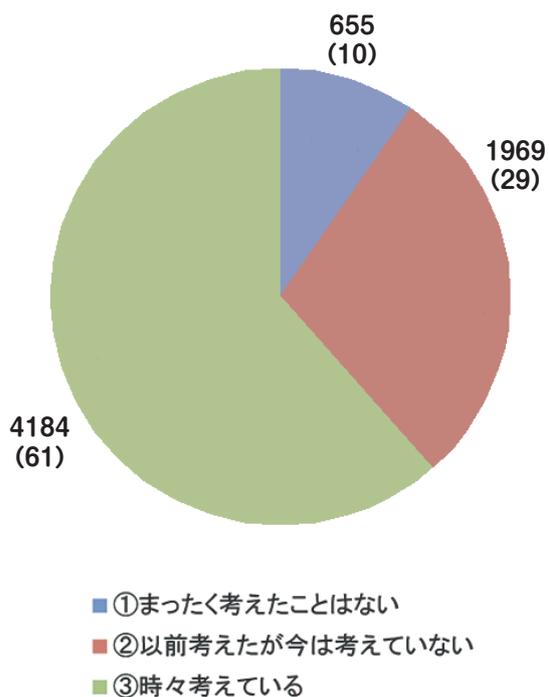
Q3

卒業された学校の種類をお答えください。



Q4

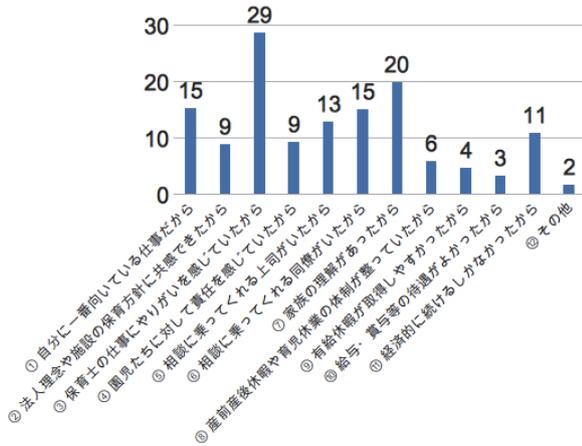
保育士として働いてきたなかで、「仕事を続けるのが難しい」と考えたことはありますか？（1つだけ）



\*Q1～Q4とも  
数字の単位＝人 ( )内＝%  
未回答数は除く

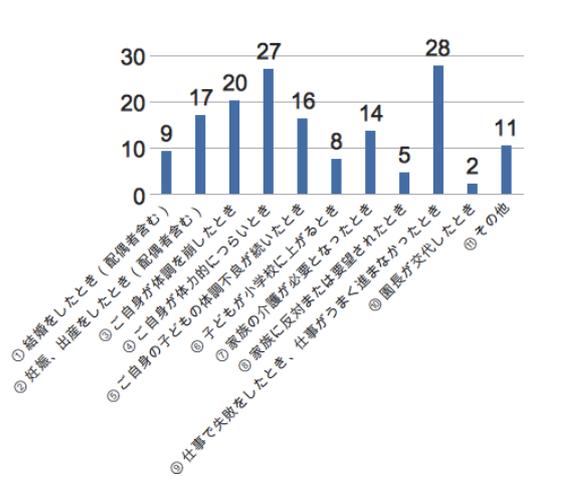
### Q5

Q4の①、またはQ4の②とお答えいただいた方に質問です。仕事を続けてきた理由をお答えください。(複数回答可)



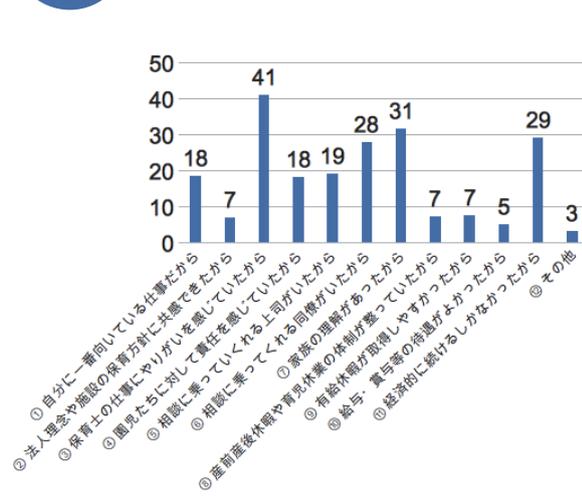
### Q6

『③時々考えている』とお答えいただいた方に質問です。どのような時に続けるのが難しいと考えましたか。(複数回答可)



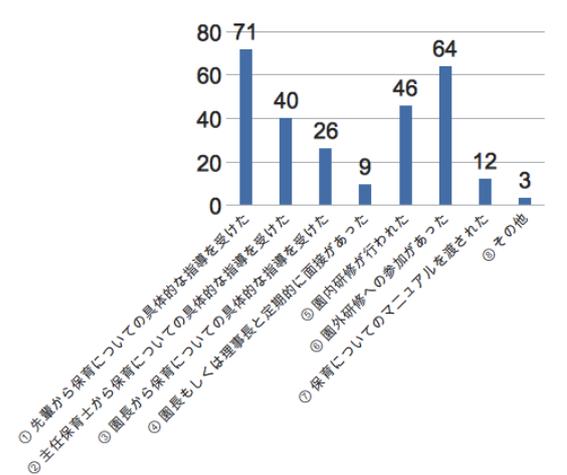
### Q7

『仕事を続けるのが難しい』と思ったにもかかわらず、今も働いている理由はなんですか。(複数回答可)



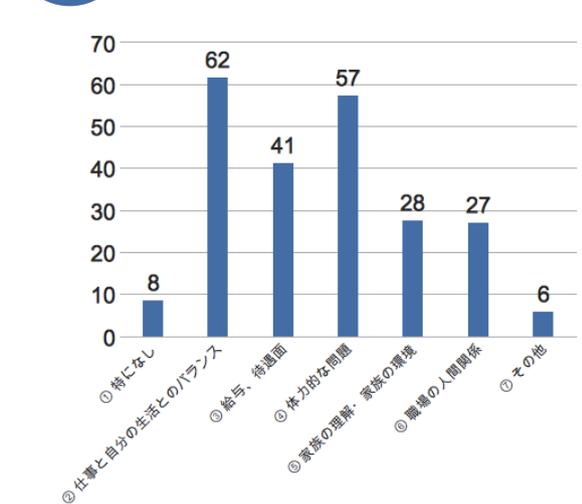
### Q8

すべての方に質問です。新人のころ、お勤めの施設ではどのような育成支援が行われていましたか。(複数回答可)



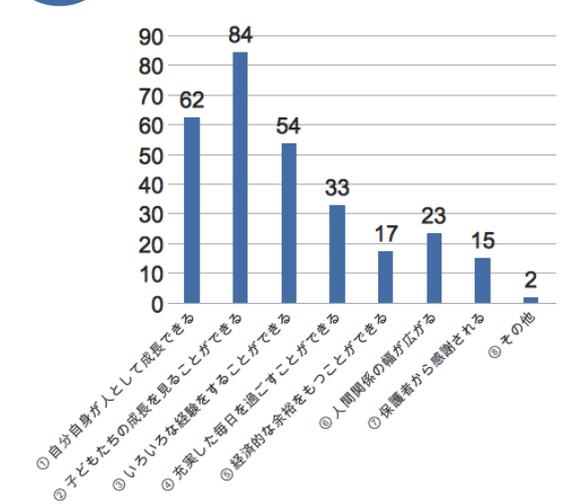
### Q9

今後、仕事を続けるうえで、困難に感じることはなんですか。3つ選んでください。



### Q10

仕事を続けてきて『よかったな』と感じることはなんですか。3つ選んでください。



\*Q5～Q10とも数字の単位＝人  
未回答数は除く

## 調査のまとめ

今回の調査の出発点は、「保育士の平均勤続年数 7.6 年<sup>\*</sup>」という数字でした。確かに平均値として数字を求めるとすると、この年数になるのかもしれませんが。しかしその一方で、私立園にも 10 年以上勤務している職員が少なからずいます。新卒で就職し 10 年以上勤務するということは、いろいろなライフステージを経たうえで、勤続したことになります。

結婚、出産、育児…、どれも嬉しい出来事ではありますが、仕事を継続して行うということを考えた場合、時としてこれらのことが障壁となるケースも発生します。仕事を続けるうえで、様々な困難な状況を経験したであろう勤続 10 年以上の職員は、その困難をどのように乗り越えてきたのか。このことを調査することにより、離職率の低下、よりよいワーク・ライフ・バランスの確立のための一助となるのではないかと考え、今回の調査を実施いたしました。

なお、この調査を行うにあたり、より多くの回答数をいただきたく願ひ、全国の加盟組織調査担当の皆様、そして各組織の事務局にご協力をいただきました。その結果、6847 名の方々からご回答を得ることができ、中身の濃い集計結果となりました。心より感謝いたします。ありがとうございました。

\* 出典：「平成 27 年賃金構造基本統計調査結果」（厚生労働省）

## 調査結果についての考察

調査項目の Q4 において【保育士として働いてきたなかで「仕事を続けるのが難しい」と考えたことはありますか】とお聞きしました。この質問に対し 61%の方々が『時々考えている』と回答しています。

Q6 では、Q4 において『仕事を続けるのが難しいと時々考えている』と回答した 4184 名の方々に対し【どのような時に続けるのが（仕事を）難しいと感じたか】とお聞きしました。この質問に対して回答数が一番多かったのが『仕事で失敗をしたとき…』28%、1892 名でした。後の Q7 において、仕事を続けるのが難しいと思ったにもかかわらず、仕事を続けている理由として『相談に乗ってくれる同僚がいたから』と回答している方が多くいらっしゃるのと合わせて考えると、互いに高め合い支え合える同僚性の構築こそが、リーダーである園長の職責ではないかと思えてきます。

2 番目に多い回答が『ご自身が体力的につらいとき』の 27%です。これに『ご自身が体調を崩したとき』『ご自身の子どもの体調不良が続いたとき』との回答が続きます。今回、女性の回答者が多数を占めるであろうと推測したため、回答者の性別を問う項目はあえて設けませんでした。妊娠、出産、育児はとても嬉しい出来事です。しかし一方で、個人にも職場にもチャレンジが求められる出来事であることが透けて

見えてくるような気がします。

Q7 では、【「仕事を続けるのが難しい」と思ったにもかかわらず、今も働いている理由】をお尋ねしました。これには 41%の方々が『保育士の仕事にやりがいを感じているから』と回答してくださいました。Q10 の【仕事を続けてきて『よかったな』と感じること】への回答として、突出して『子どもたちの成長を見ることができる』が多く挙げられています。これらのことを合わせて考えると、子どもの成長を仕事のやりがいとする保育士の姿が浮かんできます。

昨今の報道等により「保育士＝低賃金」のイメージが先行している傾向があります。しかし、今回の調査に回答を寄せている方々が示してくれているように、『保育士とは人生のスタートラインに立つ子どもたちの、成長に携わることができる魅力にあふれる仕事である』というメッセージを、社会に対して発信していく必要を感じています。

一方 Q9 において、【今後、仕事を続けるうえで困難に感じることを3つ選択する質問に対して、『ワーク・ライフ・バランス』『体力的な問題』『給与待遇面』の回答が多くありました。処遇改善、業務の選択と集中など、これからも継続して取り組む必要がある課題が見つかります。

最後の質問項目である自由記述【経験の少ない保育士にかけられる言葉】にもたくさんの回答をいただきました。すべてを紹介することはできませんが、『悩みを一人で抱えずに、先輩に相談してほしい』『子どもたちの姿を見つめ、学び続けてほしい』等の優しい声がたくさん聞かれました。

職員の処遇改善が毎年行われ、ICT による業務の省力化がなされようとしている保育現場ですが、これからの待遇面、体力面に不安を抱えている職員が多数いる現実を踏まえ、さらなる改善に向けて努力していくことの必要性を感じました。

## おわりに

どんなにすぐれたシステムや組織であったとしても、時として問題が発生します。その問題を解決し、システムの間隙を埋めるのは、職場のリーダーである園長ではないでしょうか。「いい保育をしたい」と願う気持ちを職員全体で醸成するためにも園長のリーダーシップは欠かせません。子どもの主体性を尊重した保育環境の構築、子どもの自己肯定感を育むための保育、これらはもちろん大切なことですが、それと同様に保育者の主体性を尊重する園長の姿勢も必要なのではないでしょうか。

子どもたちの姿に「やりがい」を見出し、自身の辛い状況を乗り越え、仕事を続けている多くの職員、そしてその姿に続こうとしている若い職員のためにも、定着率の向上につながる活動の必要性を感じた今回の調査でした。

(文責：丸山 純／全私保連調査部)

# 職場定着に関する調査 回答数

回答数 6,847 名

全国合計

**Q1 現在お勤めの施設での勤続年数をお答えください。**

10年未満 882

①10年～15年 2,704 ②16年～20年 1,331 ③21年～25年 872 ④26年～ 794 未回答 24

**Q2 現在お勤めの施設に就職されたときの年齢をお答えください。**

①～18歳	34	④21歳	628	⑦24歳	187	⑩31～35歳	598
②19歳	131	⑤22歳	377	⑧25歳	196	⑪35歳以上	1,224
③20歳	2,598	⑥23歳	214	⑨26～30歳	622	未回答	11

**Q3 卒業された学校の種類をお答えください。**

①高等学校	188	③短期大学	5,220	⑤大学院	4
②専門学校	827	④大学	428	未回答	3

**Q4 保育士として働いてきたなかで、「仕事を続けるのが難しい」と考えたことはありますか？(下記から1つだけ)**

①まったく考えたことはない	655	③時々考えている	4,184
②以前考えたが今は考えていない	1,969	未回答	4

**Q5 Q4の①、またはQ4の②とお答えいただいた方に質問です。仕事を続けてきた理由をお答えください。(複数回答可)**

①自分に一番向いている仕事だから	1,036	⑦家族の理解があったから	1,357
②法人理念や施設の保育方針に共感できたから	601	⑧産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから	390
③保育士の仕事にやりがいを感じていたから	1,965	⑨有給休暇が取得しやすかったから	306
④園児たちに対して責任を感じていたから	636	⑩給与・賞与等の待遇がよかったから	216
⑤相談に乗ってくれる上司がいたから	886	⑪経済的に続けるしかなかったから	739
⑥相談に乗ってくれる同僚がいたから	1,038	⑫その他	106
		未回答	53

**Q6 『③時々考えている』とお答えいただいた方に質問です。どのような時に続けるのが難しいと考えましたか。(複数回答可)**

①結婚をしたとき(配偶者含む)	644	⑦家族の介護が必要となったとき	936
②妊娠、出産をしたとき(配偶者含む)	1,175	⑧家族に反対または要望されたとき	331
③ご自身が体調を崩したとき	1,377	⑨仕事で失敗をしたとき、仕事がうまく進まなかったとき	1,892
④ご自身が体力的につらいとき	1,844	⑩園長が交代したとき	151
⑤ご自身の子どもの体調不良が続いたとき	1,116	⑪その他	718
⑥子どもが小学校に上がるとき	524	未回答	40

**Q7 『仕事を続けるのが難しい』と思ったにもかかわらず、今も働いている理由はなんですか。(複数回答可)**

①自分に一番向いている仕事だから	1,242	⑦家族の理解があったから	2,142
②法人理念や施設の保育方針に共感できたから	475	⑧産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから	485
③保育士の仕事にやりがいを感じていたから	2,789	⑨有給休暇が取得しやすかったから	505
④園児たちに対して責任を感じていたから	1,230	⑩給与・賞与等の待遇がよかったから	338
⑤相談に乗ってしてくれる上司がいたから	1,290	⑪経済的に続けるしかなかったから	1,979
⑥相談に乗ってくれる同僚がいたから	1,897	⑫その他	200
		未回答	55

**Q8 すべての方に質問です。新人のころ、お勤めの施設ではどのような育成支援が行われていましたか。(複数回答可)**

①先輩から保育についての具体的な指導を受けた	4,895	⑤園内研修が行われた	3,142
②主任保育士から保育についての具体的な指導を受けた	2,731	⑥園外研修への参加があった	4,368
③園長から保育についての具体的な指導を受けた	1,771	⑦保育についてのマニュアルを渡された	837
④園長もしくは理事長と定期的に面接があった	644	⑧その他	201
		未回答	18

**Q9 今後、仕事を続けるうえで、困難に感じることはなんですか。3つ選んでください。**

①特になし	582	⑤家族の理解・家族の環境	1,886
②仕事と自分の生活とのバランス	4,211	⑥職場の人間関係	1,847
③給与、待遇面	2,828	⑦その他	386
④体力的な問題	3,907	未回答	5

**Q10 仕事を続けてきて『よかったな』と感じることはなんですか。3つ選んでください。**

①自分自身が人として成長できる	4,272	⑤経済的な余裕をもつことができる	1,186
②子どもたちの成長を見ることができる	5,765	⑥人間関係の幅が広がる	1,606
③いろいろな経験をすることができる	3,668	⑦保護者から感謝される	1,037
④充実した毎日を過ごすことができる	2,261	⑧その他	122
		未回答	4

**Q11 経験年数の少ない保育士にける言葉がありましたらご記入ください。**

別シートへ

全国私立保育園連盟加盟組織 御中

(公社)全国私立保育園連盟調査部  
部長 丸山純

調査協力をお願い

初冬の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、毎年9月に開催されている全国調査部長会議では、共通項目の調査活動を各加盟組織が協力し、全国展開として取り組むことの可能性と必要性が議論されてきました。そこで今年度の調査部長会議において、全国共通の調査課題に取り組むことが提案され、ご出席の皆さまから賛意をいただきました。

具体的な調査手順としては、公益社団法人全国私立保育園連盟調査部(以下、全私保連調査部)において調査項目を設定したのち、各加盟組織の調査担当部、担当委員会の皆さまに調査様式をご提供し、調査活動を実施していただきます。調査結果は各加盟組織でご活用いただき、集計結果をexcel形式で全私保連調査部に送付していただければ幸いです。

今回の調査では各施設における永年勤続の保育士に関する調査を実施することといたしました。保育士の平均勤続年数を超え、継続して勤務している職員の方々を対象に勤め続けられた理由や、その思いをお聞きしたいと考えています。またさまざまなライフステージの変化に対して、各施設ではどのようなサポートがなされていたのかを調査することにより、より良い職場環境を考える際の一助になればと考えております。

貴組織の次年度の調査事業計画として検討いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

実際の調査につきましては、貴組織における調査活動担当部、担当委員会の先方をお願いをさせていただき、いくつかお願いしたい事項がございます。次頁に箇条書きにしましたので、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

#### ◆本調査実施に際してお願いしたいこと

1. 本調査にご協力いただける組織におかれましては、平成28年6月末を目途に全私保連調査部宛にexcel形式で集計データのご提供をお願いいたします。
2. 調査を実施するにあたり、全組織を対象にするのか、抽出方式で行うのかは各組織に一任いたします。
3. 調査内容に鑑み、記入者である各施設職員のプライバシーに配慮いただけますよう、貴組織加盟園の方々にお声掛けをお願いいたします。
4. 調査票の回収方法等については貴組織に一任いたします。
5. 調査項目を貴組織独自に追加する場合には、途中に挿入するのではなく、調査項目の最後に追加するようお願いいたします。

\*本調査についてのご質問等は下記をお願いいたします。

(公社)全国私立保育園連盟  
東京都台東区4-11-10  
Tel.番号 03-3865-3880  
Fax 番号 03-3865-3879

## 職場定着に関する調査

#### ◆はじめに

保育分野における人材不足問題は一部都市だけの問題ではなく、全国的な課題へと拡大しています。また、厚生労働省が発表した平成26年度時点での保育士の平均年齢は34.8歳。平均勤続年数は7.6年となっています。しかし一方で長年勤務し、後輩の見本となり活躍している保育士を目にする機会も増えてきました。今後の子どもを取り巻く環境の変化、それに対応した保育の充実を考えたとき、人材の育成と確保は私たちにとって喫緊の課題となっています。

今回の調査では平均勤続年数を超え、継続して勤務している保育士を対象に勤め続けられた理由や、その思いをお聞きしたいと考えています。またさまざまな

ライフステージの変化に対して、各施設ではどのようなサポートがなされていたのかを調査することにより、より良い職場環境を考える際の一助になればと考えております。

\*今回の調査においては、保育士および保育教諭を「保育士」と表記しています。また調査の目的に鑑み、調査対象および記入していただくのは、園長先生を除く職員ご本人をお願いいたします。

Q1、現在お勤めの施設での勤続年数をお答えください。

(同一法人内での異動を含む)

- ① 10年～15年
- ② 16年～20年
- ③ 21年～25年
- ④ 26年～

Q2、現在お勤めの施設に就職されたときの年齢をお答えください。

- ① ～18歳
- ② 19歳
- ③ 20歳
- ④ 21歳
- ⑤ 22歳
- ⑥ 23歳
- ⑦ 24歳
- ⑧ 25歳
- ⑨ 26～30歳
- ⑩ 31～35歳
- ⑪ 35歳以上

Q3、卒業された学校の種類をお答えください。

- ① 高等学校
- ② 専門学校
- ③ 短期大学
- ④ 大学
- ⑤ 大学院

Q4、保育士として働いてきたなかで、「仕事を続けるのが難しい」と考えたことはありますか？ 下記から1つだけお選びください。

- ① まったく考えたことはない 《Q5にお進みください》
- ② 以前考えたが今は考えていない 《Q5にお進みください》
- ③ 時々考えている 《Q6にお進みください》

Q5、『①まったく考えたことはない』『②以前考えたが今は考えていない』とお答えいただいた方に質問です。仕事を続けてきた理由をお答えください。(複数回答可)

- ① 自分に一番向いている仕事だから
  - ② 法人理念や施設の保育方針に共感できたから
  - ③ 保育士の仕事にやりがいを感じていたから
  - ④ 園児たちに対して責任を感じていたから
  - ⑤ 相談に乗ってくれる上司がいたから
  - ⑥ 相談に乗ってくれる同僚がいたから
  - ⑦ 家族の理解があったから
  - ⑧ 産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから
  - ⑨ 有給休暇が取得しやすかったから
  - ⑩ 給与・賞与等の待遇がよかったから
  - ⑪ 経済的に続けるしかなかったから
  - ⑫ その他【 】
- 《Q8にお進みください》

Q6、『③時々考えている』とお答えいただいた方に質問です。どのような時に続けるのが難しいと考えましたか。(複数回答可)

- ① 結婚をしたとき(配偶者含む)
- ② 妊娠、出産をしたとき(配偶者含む)
- ③ ご自身が体調を崩したとき
- ④ ご自身が体力的につらいとき
- ⑤ ご自身の子どもの体調不良が続いたとき
- ⑥ 子どもが小学校に上がるとき

- ⑦ 家族の介護が必要となったとき
- ⑧ 家族に反対または要望されたとき
- ⑨ 仕事で失敗をしたとき、仕事がうまく進まなかったとき
- ⑩ 園長が交代したとき
- ⑪ その他【 】

《Q7にお進みください》

Q7、『仕事を続けるのが難しい』と思ったにもかかわらず、今も働いている理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 自分に一番向いている仕事だから
- ② 法人理念や施設の保育方針に共感できたから
- ③ 保育士の仕事にやりがいを感じていたから
- ④ 園児たちに対して責任を感じていたから
- ⑤ 相談に乗ってくれる上司がいたから
- ⑥ 相談に乗ってくれる同僚がいたから
- ⑦ 家族の理解があったから
- ⑧ 産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから
- ⑨ 有給休暇が取得しやすかったから
- ⑩ 給与・賞与等の待遇がよかったから
- ⑪ 経済的に続けるしかなかったから
- ⑫ その他【 】

《Q8へお進みください》

Q8、すべての方に質問です。新人のころ、お勤めの施設ではどのような育成支援が行われていましたか。(複数回答可)

- ① 先輩から保育についての具体的な指導を受けた
- ② 主任保育士から保育についての具体的な指導を受けた
- ③ 園長から保育についての具体的な指導を受けた
- ④ 園長もしくは理事長と定期的に面接があった
- ⑤ 園内研修が行われていた
- ⑥ 園外研修への参加があった
- ⑦ 保育についてのマニュアルを渡された

- ⑧ その他【 】

《Q9へお進みください》

Q9、今後、仕事を続けるうえで、困難に感じることはなんですか。3つ選んでください。

- ① 特になし
- ② 仕事と自分の生活とのバランス
- ③ 給与、待遇面
- ④ 体力的な問題
- ⑤ 家族の理解・家族の環境
- ⑥ 職場の人間関係
- ⑦ その他【 】

Q10、仕事を続けてきて『よかったな』と感じることはなんですか。3つ選んでください。

- ① 自分自身が人として成長できる
- ② 子どもたちの成長を見ることが出来る
- ③ いろいろな経験をすることが出来る
- ④ 充実した毎日を過ごすことができる
- ⑤ 経済的な余裕をもつことができる
- ⑥ 人間関係の幅が広がる
- ⑦ 保護者から感謝される
- ⑧ その他【 】

Q11、経験年数の少ない保育士にける言葉がありましたらご記入ください。

## 職場定着に関する調査 回答票

市区町村	保育園名
------	------

各問いの当てはまる項目の□に点を記入下さい。

Q1、現在お勤めの施設での勤続年数をお答えください。

- ① 10年～15年
- ② 16年～20年
- ③ 21年～25年
- ④ 26年～

Q2、現在お勤めの施設に就職されたときの年齢をお答えください。

- ① ～18歳
- ② 19歳
- ③ 20歳
- ④ 21歳
- ⑤ 22歳
- ⑥ 23歳
- ⑦ 24歳
- ⑧ 25歳
- ⑨ 26～30歳
- ⑩ 31～35歳
- ⑪ 35歳以上

Q3、卒業された学校の種類をお答えください。

- ① 高等学校
- ② 専門学校
- ③ 短期大学
- ④ 大学
- ⑤ 大学院

Q4、保育士として働いてきたなかで、「仕事を続けるのが難しい」と考えたことはありますか？(下記から1つだけ)

- ① まったく考えたことはない《Q5へ》
- ② 以前考えたが今は考えていない《Q5へ》
- ③ 時々考えている
- ④ 常に考えている《Q6にお進みください》

Q5、Q4の①、またはQ4の②とお答えいただいた方に質問です。仕事を続けてきた理由をお答えください。(複数回答可)

- ① 自分に一番向いている仕事だから
- ② 法人理念や施設の保育方針に共感できたから
- ③ 保育士の仕事にやりがいを感じていたから
- ④ 園児たちに対して責任を感じていたから
- ⑤ 相談に乗ってくれる上司がいたから
- ⑥ 相談に乗ってくれる同僚がいたから
- ⑦ 家族の理解があったから
- ⑧ 産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから
- ⑨ 有給休暇が取得しやすかったから
- ⑩ 給与・賞与等の待遇がよかったから
- ⑪ 経済的に続けるしかなかったから
- ⑫ その他【 】

《Q8にお進みください》

Q6、『時々考えている』とお答えいただいた方に質問です。どのような時に続けるのが難しいと考えましたか。(複数回答可)

- ① 結婚をしたとき(配偶者含む)
- ② 妊娠、出産をしたとき(配偶者含む)
- ③ ご自身が体調を崩したとき
- ④ ご自身が体力的につらくなったとき
- ⑤ ご自身の子どもの体調不良が続いたとき
- ⑥ 子どもが小学校に上がったとき
- ⑦ 家族の介護が必要となったとき
- ⑧ 家族に反対または要望されたとき
- ⑨ 仕事で失敗をしたとき、仕事がうまく進まなかったとき
- ⑩ 園長が交代したとき
- ⑪ その他【 】

《Q7にお進みください》

Q7、『仕事を続けるのが難しい』と思ったにもかかわらず、今も働いている理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 自分に一番向いている仕事だから
- ② 法人理念や施設の保育方針に共感できたから
- ③ 保育士の仕事にやりがいを感じていたから
- ④ 園児たちに対して責任を感じていたから
- ⑤ 相談に乗ってくれる上司がいたから
- ⑥ 相談に乗ってくれる同僚がいたから
- ⑦ 家族の理解があったから
- ⑧ 産前産後休暇や育児休業の体制が整っていたから
- ⑨ 有給休暇が取得しやすかったから
- ⑩ 給与・賞与等の待遇がよかったから
- ⑪ 経済的に続けるしかなかったから
- ⑫ その他【 】

《Q8へお進みください》

Q8、すべての方に質問です。新人のころ、お勤めの施設ではどのような育成支援が行われていましたか。(複数回答可)

- ① 先輩から保育についての具体的な指導を受けた
- ② 主任保育士から保育についての具体的な指導を受けた
- ③ 園長から保育についての具体的な指導を受けた
- ④ 園長もしくは理事長と定期的に面接があった
- ⑤ 園内研修が行われていた
- ⑥ 園外研修への参加があった
- ⑦ 保育についてのマニュアルを渡された
- ⑧ その他【 】

《Q9へお進みください》

Q9、今後、仕事を続けるうえで、困難に感じることはなんですか。3つ選んでください。

- ① 特になし
- ② 仕事と自分の生活とのバランス
- ③ 給与、待遇面
- ④ 体力的な問題
- ⑤ 家族の理解・家族の環境
- ⑥ 職場の人間関係
- ⑦ その他【 】

Q10、仕事を続けてきて『よかったな』と感じることはなんですか。3つ選んでください。

- ① 自分自身が人として成長できる
- ② 子どもたちの成長を見ることが出来る
- ③ いろいろな経験をすることが出来る
- ④ 充実した毎日を過ごすことができる
- ⑤ 経済的な余裕をもつことができる
- ⑥ 人間関係の幅が広がる
- ⑦ 保護者から感謝される
- ⑧ その他【 】

Q11、経験年数の少ない保育士にける言葉がありましたらご記入ください。

\*本報告書に関するご意見、ご感想、お問合せ等は、下記の全私保連調査部へお寄せくださいませ。



## 職場定着に関する調査報告書

2017年1月31日発行

編者 公益社団法人 全国私立保育園連盟  
調査部

発行所 公益社団法人 全国私立保育園連盟

〒111-0051

東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館

TEL 03-3865-3880 FAX 03-3865-3879

URL : <http://www.zenshihoren.or.jp/>

E-mail : [ans@zenshihoren.or.jp](mailto:ans@zenshihoren.or.jp)

デザイン 株式会社タモン

印刷・製本 株式会社光陽メディア

© Kouekishadanhoujin Zenkokushiritsuhoikuenrenmei 2017 Printed in Japan

落丁・乱丁本は本会事務局へご連絡ください。

送料本会負担にてお取り替えいたします。